

10

16

キーワード

障害・社会参加・自己実現・インクルージョン

1. 活動の背景

近年、教育現場では、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築が推進されています（文科省,2012）。2022年に行われた全国調査では、小中学校の通常学級において特別な教育的支援を必要とする児童生徒が8.8%存在すると報告されました（文科省,2022）。これに、知的障害や身体障害のある子どもを加えると、個別の教育的支援を必要とする子どもは10%を超えることになります。これらの子どもたちを含めたインクルーシブな教育システムを整備し、維持していくためには、未来の保育・教育を担う学生が障害のある人々の現状を知り、自ら課題解決できる力を身につけることが必要であると考えます。

一方、常葉大学には、「ここは未来塾」という学生自主企画活動を支えるプログラムがあります。本稿では、このプログラムにおいて筆者がアドバイザーを務めた活動を取り上げ、障害のある人と共に推進する社会参加と自己実現について考えます。

4. 具体的な取り組み

障害のある子どもの夢の傾向として「～になりたい」というものよりも「～をしてみたい」という意見が多く見られました。これまでに取り組んだ活動は次の通りです。

- 「世界のアイスクリームを食べ尽くしたい!」という子どもと県内の店舗をめぐる、「ぼくのアイスマップ」を作成（図1）。
- 「障害があってもおしゃれしたい!」という子どもと、憧れの衣装を作成し、草薙商店街のハロウィンイベントへの参画（図2）。
- 「車椅子でも介助員さんに頼らず友だちと遊びに出かけたい!」という車椅子利用者に向けて、静岡市内を取材し、「アオハル! 車いす冒険地図」を作成（図3）

これらの活動は、障害特性によりコミュニケーションにつまづきのある子どもが地域の方とつながることの難しさや、車椅子で人混みを移動する際の不便さや危険等を学生が自分のこととして感じ取る機会となりました。



図1. アイスクリームが大好きな発達障害児と作成したアイスマップ

教員名

保育学部・保育学科
准教授 赤塚めぐみ



<連携先> 静岡県立静岡北特別支援学校／静岡市立東豊田小学校／草薙商店街（商工会議所の皆様）／社会福祉法人花園会 宮前ロッジ／東宝映画館／静岡伊勢丹／ヴェルベナカフェ／駿府城Run and Refresh station／新静岡セノバ／四つ葉文具／カトレヤダイニング松坂屋静岡店／株式会社WFB(cloth tone) 他

2. 目的

- ① 学生が障害のある人の実態を知り、課題解決に向けたスキルを獲得すること
- ② 障害のある子どもが地域社会の中で人とつながり、積極的かつ豊かに活動できる機会を提供すること
- ③ 子ども及び学生がその能力や可能性を最大限に活かすための地域連携の在り方を検討すること

3. 方法

- ① 地域の施設や学校に協力を依頼し、障害のある子どもたちの「夢」を調査
- ② 調査結果の中から、実現可能性やオリジナリティなどを判定し、共にチャレンジしたい夢を選定
- ③ 地域への協力を呼びかけ、障害のある子どもたちと共に夢実現プロジェクトの企画・実行



図3. 車いす利用者向け外出マップ

5. 期待される効果

SDGsは、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指しています。障害のある人は、一般的に社会的弱者として捉えられることが多いですが、学生はその関わりを通じて多くの学びを得ています。そして、地域の皆様の支えによって「活動」と「感謝」の連鎖を経験できることは、自己実現を叶えると同時に、共生社会の推進に向けた知識と原動力につながります。

これらの活動が単なるアウトプットに留まらず、アウトカム（二次的な効果）を産出し続けられるならば、障害の有無に関わらず、誰もが生涯学習の機会を得られ、自分らしい社会参加を実現できるものと期待します。



図2. 草薙商店街でのハロウィン